



明治150年 博多の伝統芸能

入場  
無料

# 博多芸妓の世界

座席数に限りがあります

梅の花満開のこの季節、黒紋付に博多献上帯姿の艶やかな博多芸妓衆が太宰府参道～天満宮を練り歩き、九州国立博物館で唄と踊りを披露します。

九州国立博物館 ミュージアムホール

平成30年  
2月27日(火)

12:00 ~ 参道お練り・天満宮参拝  
13:30 ~ 公演 第1部 (開場 13:00)  
13:50 ~ 休憩  
14:00 ~ 公演 第2部



## 【博多芸妓・博多券番の歴史】

博多に芸妓が登場したのは江戸時代の中頃以降と言われ、明治になってから芸妓の取次ぎや花代(出演料)などの精算を行う券番ができました。

博多の芸妓は、おおらかできつぷがいいとの評判で世に知られ、最盛期には芸妓2,000名、5つの券番が存在しました。昭和60年に全ての券番が一つにまとめ「博多券番」となり現在に至っています。

平成30年は、明治元年から起算して満150年の年に当たります。今年も「博多芸妓の世界」をお楽しみください。また、博物館では、特別展「王羲之と日本の書」(有料)を開催中ですので、併せてご観覧ください。



- ◆ 主催 公益財団法人 九州国立博物館振興財団
  - ◆ 共催 九州国立博物館、博多伝統芸能振興会、太宰府天満宮、太宰府観光協会
  - ◆ 問い合わせ先 公益財団法人 九州国立博物館振興財団
- Tel:092-918-2160 E-mail:zaidan@kyukoku.or.jp

※ 天候不良などにより一部内容の変更や中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。